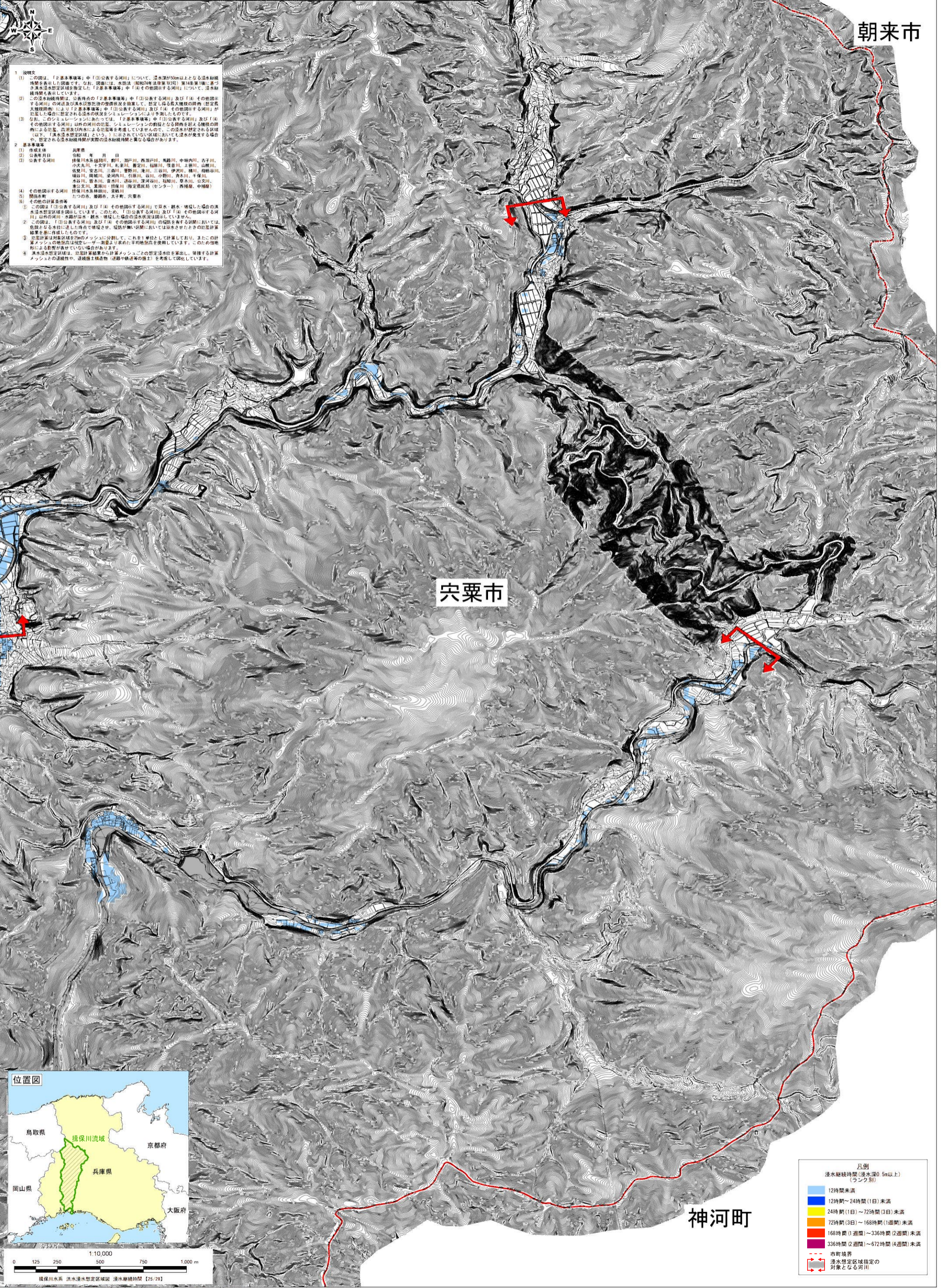


揖保川水系草木川・黒原川 洪水浸水想定区域図 浸水継続時間【25/28】



1 説明文
 (1) この図は、「2基本事項等」中「(3)公表する河川」について、浸水深が50cm以上となる浸水継続時間を表示した図面です。なお、図面には、水防法（昭和47年法律第39号）第14条第1項に基づき洪水浸水想定区域を指定した「2基本事項等」中「(4)その他指定する河川」について、浸水継続時間も表示しています。
 (2) この浸水継続時間は、公表時点の「2基本事項等」中「(3)公表する河川」及び「(4)その他指定する河川」の河況及び洪水計算状況の推定値を勘案して、想定し得る最大規模の降雨（想定最大規模降雨）により「2基本事項等」中「(3)公表する河川」及び「(4)その他指定する河川」が氾濫した場合に想定される浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。
 (3) なお、このシミュレーションにあたっては、「2基本事項等」中「(3)公表する河川」及び「(4)その他指定する河川」以外の河川の氾濫、シミュレーションの範囲を超える降雨を起る連続的降雨による氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この浸水が想定される区域（以下、「洪水浸水想定区域」という。）に示されていない区域においても浸水が発生する場合があります。想定される浸水継続時間が実際の浸水継続時間と異なる場合があります。

2 基本事項等
 (1) 作成主体 兵庫県
 (2) 公表年月日 令和5年 10月 1日
 (3) 公表する河川 揖保川水系（揖保川、御所川、西瀬川、西瀬川、中瀬川、古子川、小太川、十文字川、札家川、黒原川、福原川、豊田川、上瀬川、山瀬川、桂川、室川、三瀬川、黒野川、津川、三谷川、伊賀川、瀬川、石瀬川、瀬谷川、瀬谷川、瀬谷川、引原川、谷川、小野川、赤木川、平瀬川、水谷川、赤木川、香取川、瀬谷川、津河川、瀬谷川、草木川、公取川、黒原川、黒原川、揖保川（指定河川センター）：西瀬川、中瀬川）
 (4) その他指定する河川 揖保川水系（揖保川、御所川、西瀬川、中瀬川）
 (5) 関係市町 朝来市、神河町、穴栗市
 (6) その他の公表条件等
 ① この図は「(3)公表する河川」及び「(4)その他指定する河川」で洪水・洪水・浸水した場合の洪水浸水想定区域を指定しています。このため、「(3)公表する河川」及び「(4)その他指定する河川」以外の河川・水害が原因となる洪水・浸水想定区域は指定していません。
 ② この図は、「(3)公表する河川」及び「(4)その他指定する河川」の河況を有する区域において、危険となる水位に達した時点で浸水させ、浸水が継続する区域については浸水させたときの浸水計算結果を基に作成したものです。
 ③ 浸水計算は対象区域を20mのメッシュに分割して、これを1単位として計算しており、またこの計算メッシュの地形高は想定し得る最大より求めた平均地形高を使用しています。このため、地形による影響が大きい場合があります。
 ④ 洪水浸水想定区域は、浸水計算結果から計算メッシュごとの想定浸水水位を算出し、隣接する計算メッシュとの連続性や、連続性構造物（道路や鉄道の橋脚）を考慮して図示しています。

朝来市

穴栗市

神河町



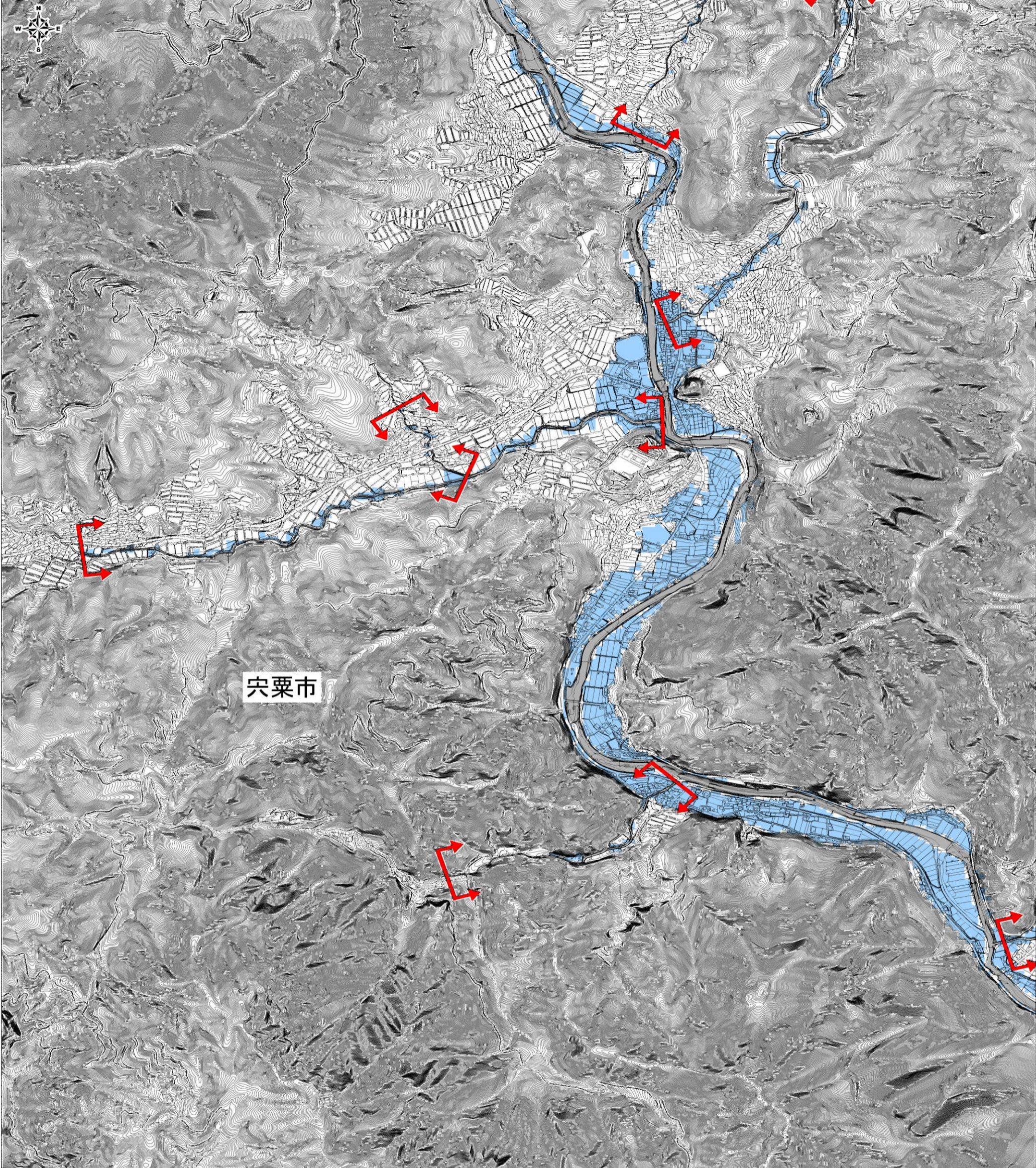
凡例
 浸水継続時間（浸水深0.5m以上）
 (ランク別)

12時間未満
12時間～24時間(1日)未満
24時間(1日)～72時間(3日)未満
72時間(3日)～168時間(2週間)未満
168時間(2週間)～336時間(4週間)未満
336時間(4週間)～672時間(8週間)未満

--- 市町境界
 浸水想定区域指定の対象となる河川



この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の電子地形図25000を複製したものである。(承認番号：〇〇、第〇〇号)



堺市



- 1 説明文
 - (1) この図は、「2基本事象等」中「(3)公表する河川」について、浸水深が50cm以上となる浸水継続時間を表示した図面です。なお、図面には、水防法（昭和44年法律第133号）第14条第1項に基づき浸水想定区域を指定した「2基本事象等」中「(4)その他公表する河川」について、浸水継続時間も表示しています。
 - (2) この浸水継続時間、公表時刻の「2基本事象等」中「(3)公表する河川」及び「(4)その他公表する河川」の河床及び洪水浸透等の河床状況と勘案して、想定し得る最大規模の洪水（想定最大規模洪水）により「2基本事象等」中「(3)公表する河川」及び「(4)その他公表する河川」が氾濫した場合に想定される浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。
 - (3) なお、このシミュレーションにおいては、「2基本事象等」中「(3)公表する河川」及び「(4)その他公表する河川」以外の河川の氾濫、シミュレーションの前段となる降雨を起す規模の降雨による氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この浸水が想定される区域（以下、「浸水想定区域」という。）に当てはまらない区域においても浸水が発生する場合があります。想定される浸水継続時間と異なる場合があります。
- 2 基本事象等
 - (1) 発生主体 兵庫県
 - (2) 公表年月日 令和 年 月 日
 - (3) 公表する河川 引原川、千保川、水谷川、皆木川、千保川、西野川、中野内川、古子川、小太川、千文字川、丸瀬川、番田川、福原川、窪田川、土御川、山崎川、佐野川、安志川、三森川、菅野川、津川、三谷川、伊野川、磯川、母野谷川、横谷川、横野川、津河内川、引原川、谷川、小野川、齊木川、千保川、水谷川、皆木川、齊木川、深谷川、笠原川、福原川、皆木川、立文川、栗久川、栗原川、揖保川（指定防災局（センター））、西條川、中河原
 - (4) その他公表する河川 揖保川水系林田川、安納川
 - (5) 種別 土砂の崩壊、土砂崩壊、土砂崩壊
 - (6) その他の計算条件
 - この図は「(3)公表する河川」及び「(4)その他公表する河川」で洪水・浸水・破綻した場合の浸水想定区域を算出しています。このため、「(3)公表する河川」及び「(4)その他公表する河川」以外の河川・水路が洪水・浸水・破綻した場合の浸水状況は図示していません。
 - この図は、「(3)公表する河川」及び「(4)その他公表する河川」の陥没を有する区域においては、陥没となる水位に達しし時点で破綻させ、陥没が無い区域においては洪水させたときの氾濫計算結果を基に作成したものです。
 - 氾濫計算は対象区域を20mのメッシュに分割して、これを1単位として計算しており、またこの計算メッシュの形状等は従来より異なる平均地価図を使用しています。このため地物別による影響が表せていない場合があります。
 - 浸水想定区域は、氾濫計算結果から計算メッシュごとの想定浸水高を算出し、関係する計算メッシュとの連続性や、連続した浸水高（道路や鉄道等の直上）を考慮して図示しています。

凡例	
浸水継続時間（浸水深0.5m以上） （ラック別）	
12時間未満	12時間～24時間（1日）未満
24時間（1日）～72時間（3日）未満	72時間（3日）～168時間（2週間）未満
168時間（2週間）～336時間（4週間）未満	336時間（4週間）～672時間（8週間）未満
市町境界	浸水想定区域指定の対象となる河川

この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の電子地形図2500を複製したものである。（承認番号 〇〇、第〇〇号）

揖保川水系引原川・皆木川・音水川 洪水浸水想定区域図 浸水継続時間【27/28】



- 説明文
 - この図は、「2基本事象等」中「①公表する河川」について、浸水深が50cm以上となる浸水継続時間を表示した図面です。なお、図面には、水防法（昭和44年法律第193号）第14条第1項に基づき洪水浸水想定区域を指定した「2基本事象等」中「④その他指定する河川」について、浸水継続時間も表示していません。
 - この浸水継続時間は、公表時点の「2基本事象等」中「①公表する河川」及び「④その他指定する河川」の河床及び洪水浸水想定区域の地形状況を勘案して、想定し得る最大規模の降雨（想定最大規模降雨）により「2基本事象等」中「①公表する河川」及び「④その他指定する河川」が氾濫した場合に想定される浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。
 - なお、このシミュレーションにあたっては、「2基本事象等」中「①公表する河川」及び「④その他指定する河川」以外の河川の氾濫、シミュレーションの精度となる降雨量に関する精度の確保による氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この浸水が想定される区域（以下、「洪水浸水想定区域」といいます）に示されていない区域においても浸水が発生する可能性があります。想定される浸水継続時間が実際の浸水継続時間と異なる場合があります。
- 基本事象等
 - 作成主体
 - 公表年月日

河川	年	月	日
揖保川水系引原川、皆木川、音水川、西瀬戸川、馬路川、中瀬内川、古子川、小次川、十文字川、北条川、曹田川、福野川、鎌倉川、土御川、山崎川、坂本川、安土川、三河川、豊田川、東川、三谷川、伊丹川、藤川、母崎谷川、坂谷川、岡城川、栗内川、引原川、谷川、小野川、赤木川、千種川、坂谷川、都木川、音水川、渡谷川、渡河谷川、和知川、堂木川、公田川、堂木堂木川、栗田川、揖保川（揖保川局（センター））（南條川、中瀬川）			
 - 公表する河川

河川	年	月	日
揖保川水系引原川、皆木川、音水川、西瀬戸川、馬路川、中瀬内川、古子川、小次川、十文字川、北条川、曹田川、福野川、鎌倉川、土御川、山崎川、坂本川、安土川、三河川、豊田川、東川、三谷川、伊丹川、藤川、母崎谷川、坂谷川、岡城川、栗内川、引原川、谷川、小野川、赤木川、千種川、坂谷川、都木川、音水川、渡谷川、渡河谷川、和知川、堂木川、公田川、堂木堂木川、栗田川、揖保川（揖保川局（センター））（南條川、中瀬川）			
 - その他指定する河川

河川	年	月	日
揖保川水系林田川、茶臼川			
 - 関係機関

機関	名称
国土交通省	国土院、建設院、国土院、国土院
 - その他の計算条件等
 - この図は「①公表する河川」及び「④その他指定する河川」で洪水・越水・氾濫した場合の洪水浸水想定区域を想定しています。このため、「①公表する河川」及び「④その他指定する河川」以外の河川・水路が洪水・越水・氾濫した場合の浸水は表示していません。
 - この図は、「①公表する河川」及び「④その他指定する河川」の氾濫を有する区域において、想定される浸水継続時間に基づき、浸水継続時間（浸水深50cm以上）を算出しています。
 - 浸水継続時間は対象区域を100mメッシュに分割して、これを1単位として計算しており、またこの計算メッシュの地形高はDEM（デジタル・地形高）データに基づき算出された平均地形高を使用しています。このため地形高による影響が大きい場合があります。
 - 洪水浸水想定区域は、氾濫計算結果から計算メッシュごとの想定浸水深を算出し、算出する計算メッシュとの浸水深、浸水継続時間（浸水深50cm以上）を考慮して図面しています。

宍粟市



凡例

浸水継続時間（浸水深50cm以上）
（ランク別）

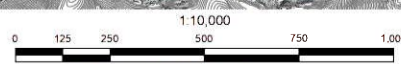
12時間未満
12時間～24時間（1日）未満
24時間（1日）～72時間（3日）未満
72時間（3日）～168時間（1週間）未満
168時間（1週間）～336時間（2週間）未満
336時間（2週間）～672時間（4週間）未満
市町境界
浸水想定区域指定の対象となる河川

この地図は、国土院の承認を得て、関係機関の電子地形図25000を複製したものである。（承認番号 〇〇、第〇〇号）

養父市

宍粟市

- 1 説明文
- (1) この図は、「2基本事項等」中「③公表する河川」について、浸水深が50cm以上となる浸水継続時間を表示した図面です。なお、図面には、水防法（昭和46年法律第148号）第14条第1項、第2項の洪水浸水想定区域指定した「2基本事項等」中「④その他の公表する河川」について、浸水継続時間も表示しています。
 - (2) この浸水継続時間は、公表時刻の「2基本事項等」中「③公表する河川」及び「④その他の公表する河川」の河道及び洪水浸水想定区域の形状を基に、想定し得る最大規模の降雨（想定最大規模降雨）により「2基本事項等」中「③公表する河川」及び「④その他の公表する河川」が氾濫した場合に想定される浸水の状況を示しシミュレーションにより算出したものです。
 - (3) なお、このシミュレーションにあたっては、「2基本事項等」中「③公表する河川」及び「④その他の公表する河川」以外の河川の氾濫、シミュレーションの精度となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、公表及び内示による氾濫等を考慮していませんので、この浸水が想定される区域（以下、「洪水浸水想定区域」という。）に示されていない区域においても浸水が発生する場合があります。想定される浸水継続時間が実際の浸水継続時間と異なる場合があります。
- 2 基本事項等
- (1) 作成主体 兵庫県
 - (2) 公表年月日 令和 年 月 日
 - (3) 公表する河川 揖保川水系揖保川、駒川、瀬戸川、西瀬戸川、風瀬川、中瀬戸川、古子川、小次丸川、十文字川、札津川、善定川、福原川、上津川、山崎川、佐野川、安心川、三倉川、菅野川、津川、三谷川、伊賀川、津川、舟橋谷川、福原川、富城川、道谷川、引原川、谷川、小野川、赤木川、千原川、水谷川、善木川、香木川、道谷川、深河谷川、和知川、善木川、公文川、善公文川、栗原川、揖保川（指定農産物（センター）：西福原、中福原）
 - (4) その他の公表する河川 揖保川水系揖保川、駒川
 - (5) 関係市町 たつの市、姫路市、太子町、宍粟市
 - (6) その他の計算条件等
 - この図は「③公表する河川」及び「④その他の公表する河川」で洪水・浸水・氾濫した場合の洪水浸水想定区域を算出しています。このため、「③公表する河川」及び「④その他の公表する河川」以外の河川・水路が洪水・浸水・氾濫した場合の浸水状況は図示していません。
 - この図は、「③公表する河川」及び「④その他の公表する河川」の河道を基に想定した浸水想定区域は、危険となる水位に達した時点で算出され、堤防が崩壊するまでは洪水させたとときの計算結果を基に作成したものです。
 - 浸水計算は対象区域を1kmメッシュに分割して、これを1単位として計算しており、またこの計算メッシュの地形高は航空レーザー測量より求めた平均地形高を使用しています。このため地形高による影響が表れていない場合があります。
 - 洪水浸水想定区域は、指定河川から計算メッシュごとの想定浸水水位を算出し、隣接する計算メッシュとの連続性や、連続した浸水区域（道路や鉄道等の橋）を考慮して図化しています。



この図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の電子地形図25000を複製したものである。（承認番号 〇〇、第〇〇号）